低炭素杯2014エントリーシート【様式2】　A面

1. エントリーされる部門を選択してください。

地域活動部門

事務局使用欄	
	A －

2. 活動主体の概要

フリガナ	チクセイシショウコウカイエコノキプロジェクトブカイ・エコカレッジ23・イバラキダイガクアイキャス・イバラキシゼンエネルギーネットワーク　レンメイ			
名称	筑西市商工会エコの木プロジェクト部会・エコカレッジ23・茨城大学ICAS・いばらき自然エネルギーネットワーク連名（代表　筑西市商工会エコの木プロジェクト部会）			
主な活動地域	茨城県		ここをクリックして現れる▽ボタンより選択	
活動予算	50万円（エコの木プロジェクト）			
活動人数	事務局	1名（エコの木プロジェクト）	会員	10名（エコの木プロジェクト）
URL	http://ecoc23.web.fc2.com/info2.html			

3. エントリーされる取組の概要

フリガナ	チイキレンケイデウミダスシゼンエネルギータイケンキョウシツ
取組の名称	地域連携で生み出す自然エネルギー体験教室
取組の紹介	筑西商工会エコの木プロジェクト部会の、自転車発電機、ソーラークッカー、その他の教材を用いた自然エネルギー体験教室を、大学、地域連携ネットワークの活動をを活用し、県域レベルでの活動へと引き上げつつある取り組み。モデルをエコの木プロジェクト、教材開発を茨城大学ICAS、連携のづくりをいばらき自然エネルギーネットワーク、体験教室の実践ではエコ・カレッジ23がそれぞれ実践的に取り組みを広げている。
取組の目的	地域の住民や児童生徒達と自然エネルギーを等して、積極的に交流する機会を県内に増やしていくこと。交流を通じて、エネルギーの上手な使い方を身に着けてもらったり、将来に希望が持てる楽しい体験を提供すること。それらを実践を積み重ね、大きなうねりのようなものに育て上げていくこと。
活動内容	**≪モデルづくり≫**『筑西商工会エコの木プロジェクト部会』では、2008年より自転車発電機、ソーラークッカー等を利用してイベント等で省エネ・自然エネルギー体験を実施してきた。震災後、2011年5月に地元中学校から依頼を受けこれらの活動を整理し自然エネルギーに関する体験教室を企画し2013年まで3年間実施している。 **≪教材開発≫**自然エネルギー体験教室で用いられている体験教材は、『筑西市商工会エコの木プロジェクト部会』が『茨城大学ICAS』とW-BRIDGE研究・活動助成を受けて3年間に渡って蓄積してきたものを用いている。2012年7月からは、『いばらき自然エネルギーネットワーク』を活用した地域人材育成と題して同じくW-BRIDGE研究・活動助成を受けて教材開発、機材の集積を行った。　**≪広域的展開≫**2012年には、つくば3Eフォーラムバイオマスタスクフォースからの依頼を受けて、この取組を近隣のつくば市で実施した。また、エコ・カレッジ（茨城県の主催する環境保全活動を主体的に実践するリーダーを養成講座）の卒業生グループ『エコカレッジ23』と連携が生まれたため、『エコカレッジ23』のメンバーに中学校での自然エネルギー体験教室に実際に参加してもらい、自然エネルギー体験教室を実際に開催する体験を積んでもらうことにした。『エコカレッジ23』では、2012年度後半から、自ら『自然エネルギー体験教室を』地域のイベントや県内の小学校等で実践する取り組みをはじめ、現在では県内各地で実施している。

低炭素杯2014エントリーシート【様式2】　B面

地域活動部門	筑西市商工会エコの木プロジェクト部会・エコカレッジ23・茨城大学ICAS・いばらき自然エネルギーネットワーク連名（代表　筑西市商工会エコの木プロジェクト部会）

4. 各部門共通審査へのアピール

審査項目	アピール内容
① 低炭素社会づくりへの貢献度	地域の環境人材を活かすこと・生きた人間活動を徐々に活発化させる手法によって活動が自発的かつ持続的に成長できるよう心掛けている。地域住民や小中学生と地元の商工業者、定年後の熟年層との交流や連携により人間活動を活性化しながら知識や経験、技術を一緒にひろげるため、より自発的で持続的な低炭素社会づくりに寄与している。
② 活動の必要性	省エネルギーは、エネルギーの上手な使い方を身に着けることである。また、自然エネルギーの普及は、設備の設置だけでなく、より深い理解が多様な主体に広がり、それぞれの主体が消費・生産・支援などそれぞれの役割に気が付いて活動していくことで経済となって広がることができる。それらの実践の好事例として、自然エネルギー体験教室の活動が今重要であると考えられる。
③ 活動の効果・先駆性	地域の環境人材の活用（エコカレッジ卒業生・省エネ普及指導員・地球温暖化防止活動推進員）の活用、生きた人間活動を徐々に活発化させることで省エネ、自然エネルギーを普及させようとする取り組みであること（人間開発と結びつけた取り組みであること）。将来を担う次世代と一緒に大人が考えることで、現在と将来及び未来を変えて行く取り組みであること。（バックキャスティング）

5. 各部門別審査へのアピール

エントリーされる部門名を選択し、各部門別の審査項目にしたがいアピール内容をご記入ください。

部門名	地域活動部門
審査項目	アピール内容
① 活動の持続性・発展性	これから環境活動を実践したいと願うエコ・カレッジ卒業生と地元に根ざしてイベントなどで場を盛り上げながら皆で楽しむことに主眼を置いたエコの木プロジェクトの自然エネルギー体験教室の取り組みがうまくマッチングできた。手法・活動モデルができており、また、常に新しい挑戦も続けているため、今後とも活動は、少しずつ層を増しながら継続されていくと考えられる。
② 活動の広がり	エコの木プロジェクト部会は働き盛りの子育て世代が中心のため、広域的な展開はできないが熟年層を中心としたエコカレッジ23は、広域的な機動力が高かった。また、震災・温暖化で、出前を依頼される機会も増えており活動は広がっていくことが期待される。
③ 具体性・実現性	エコの木プロジェクト部会での出前授業の体験者は、地元及び近隣市町村の中学生660人を超えた。また、エコカレッジ23の体験教室の実施回数は、イベント11回、出前授業3校で、体験者の延べ人数は360人を超えている。それぞれの活動は、温暖防止活動推進センターや新聞等でも取り上げられこれらの活動は着実に広がりを見せつつある。

6. その他

補足資料の提出の有無をチェックください。補足資料の提出がある場合は、そのファイル名をご記入ください。　＊ただしA4サイズ10枚以内の容量とすること

補足資料の提出		補足資料あり	
補足資料ファイルの名称	….pdf ….jpg など	自然エネルギー体験教室参考資料.pdf 大村小学校.pdf 動画資料　http://www.youtube.com/watch?v=uizC0o8Ef5I （藻類バイオマス利用ワークショップ2012　第1部）	

事務局使用欄			
			A－